



宮崎県えびの市農業委員会

No.1

女性・男性、皆が活躍する農業委員会を目指して！

★えびの市農業委員会概要★

えびの市農業委員会は、農業委員10人と、農地利用最適化推進委員18人の計28人で構成されています。農業委員のうち3名、農地最適化推進委員のうち9名が女性で、女性の比率が高い農業委員会です。

★女性が増えた経緯について★

平成29年7月以前は、女性農業委員はおらず、農業委員18名全員男性でした。

きっかけは、農業委員会法が改正され、新しく農業委員及び農地利用最適化推進委員制度が出来た事でした。

それまで女性委員がいなかったので、認定農業者で共同申請されている女性農業者にお願いして回りました。

農地利用最適化推進委員についても、女性連絡会議である「えびの市農村女性のつどい」にお願いして、各女性団体で周知して頂き、商工会女性部の方を中心に応募していただきました

その結果、平成29年7月には女性農業委員3名、女性農地利用最適化推進委員7名、計10名の体制でスタートすることができました。その後、女性委員のグループである「よつば会」を結成して、花を植栽する活動を行っています。

令和2年7月の改選で10名は継続し、新しく2名の方が女性農地利用最適化推進委員となりました。女性農業委員3名、女性農地利用最適化推進委員9名、計12名となりました。



女性農業委員、女性農地利用最適化推進委員の皆さん

★女性が活躍するために★

女性委員にも担当地区を割当て、遊休農地の調査、農地のあっせん活動などを行っていただきました。農地法等の関係法令などについて研修を行い、不明な点は事務局でサブドバイスやサポートする事で**自信を持って、業務に取り組める**ようになってきました。

★女性農業委員を増やすために必要なこと★

女性委員活動の啓発を行い、**専門的な知識が無くても（研修で知識は身につく）委員活動はできる事と、委員活動が難しい事ではなく、重要である事**を発信していく必要があると思います。

★こんな効果も！！★

○女性委員がいる事で女性の農地所有者及び相続人の方々が、**相談しやすくなった**。
○女性委員の活動が男性委員にとってもいい刺激となって、**男女問わず活気ある活動に繋がった**。

宮崎県えびの市農業委員会

No. 2



よつば会の活動

★「よつば会」について★

平成31年3月（2019年3月）、女性農業委員及び農地利用最適化推進委員10名が「遊休農地解消のために私たちも何かしたい！」という思いから、緑肥にもなり景観も良いクリムソクローバーを植える「よつば会」を発足しました。

月に一度の定例会を開いて、活動の打ち合せや農地制度等の疑問点や悩みごとを持ち寄り、話し合っています。活動場所は、九州縦貫自動車道えびのインターチェンジ出入口付近で国号268号線の道路沿いの遊休農地であった農地にクリムソクローバーの他、夏はひまわり・サルビア、秋はコスモスといった季節の花などを植える活動を行っています。活動候補地の選定などが難しい課題もありますが、全員は生き生きと活動に参加しています。

★女性農業委員さんから一言★

○岩屋 美智子 さん

女性が農業経営に関わる事で経営にさまざまな良い効果が生まれる事はわかっていますが、女性農業者は、農業と家庭の事などで忙しく働いているばかりでなく、学びの場となり得るグループ作りや様々なグループの会合に参加する事で様々な人々と出会っていくので、その出会いを大事にして、自分磨きをして欲しいと思います。自分を磨く事で自分に余裕ができれば、農業も楽しくなっていくと思います。

○田上 みゆき さん

年齢層や男女に関係なく、いろいろな人達とのつながりで農業のノウハウや経営等についての知識を学ぶ事ができるので「人の話を聞いてみよう」そして「チャレンジしてみよう」。

○下原 小枝子 さん

コロナ禍で厳しい世の中ですが、今は辛抱の時です。美味しい有機米、人参、ハウストマトを作っています。手間をかけた分、良い品物が出来上がります。大変な時こそきっと自分の力になると思います。

皆さん、前を向いて行きましょう！

